



TL'52-75
¥75,000
color = BLD



TL'62-70
¥70,000
color = VWH



TL'62B-70
¥70,000
color = CAR



TL'69-115
¥115,000
color = All Rose NAT



TL'69-98
¥98,000
color = All Rose NAT



TL'69-75
¥75,000
color = PRD

TELECASTER



TL'52-95
¥95,000
color = BSB



TL'72-55
¥55,000
color = left BLK (R)
right NAT (M)

VINTAGE TELECASTER

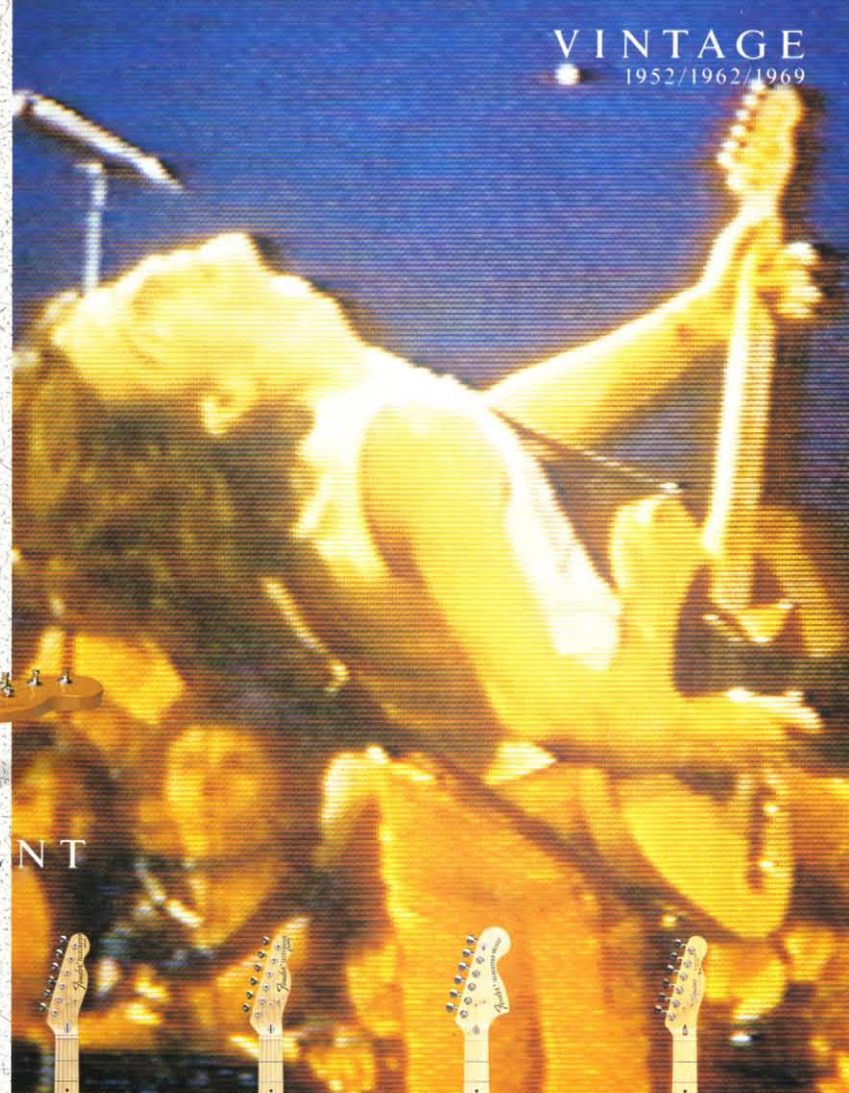
テレキャスターの引力。それは凝ったメカニズムや斬新なデザインではなく、純粋にいい品のある、素材と正統なラインの結晶、それです。50年代から60年代にかけてのヴィンテージと呼ぶアンプのラインアップを見ると、時代を越えて実にシックで美しく、ゆったりとしたテレキャスター感覚に気づく。演奏するための不必要な装飾がない、ソリッドギターの原点に立つアイテムのTL52-75を筆頭にローズウッドフレットボードの62年モデルTL62-70。オーセンティックだが洒落心なきセボダイエッジにバイブレーションのあるTL62B-70もハープルでシックだ。洒落心なら年輪の深い味とレトロ感覚に満ちたロンドンサイケデリックの軽さがマッチしたベイズリー仕様のTL69-75PRD。全身にローズウッドをまとったフェンダー直造りギヤスを主張するオールローズテレキャスター-TL69-115と98が美しく輝いている。

CURRENT TELECASTER

テレキャスターに対する造形感覚や色彩感覚は時代とともに変化する。70年代に入るとさまざまなアイテムが登場した。特徴的なフォルムはそのまま継承し、意欲的にラインアップを展開したこれらのアイテムをカレントモデルという名称でカテゴリにおさめている。オーソドックスなテレキャスターの70年バージョンにメイプルとローズのふたつのネック仕様を用意したTL72-55が、またモミアコースティックのトーンニュアンスを2シングルPUで試みたThinline TN70-75と2ハムバックシング仕様6ウェイブリッジのTL72-75、シングルとハムバックシングを合わせたCustom TC72-60、さらには2ハムバックシングでストラトキセスターヘッドのDeluxe TD75-65など微妙に変化しながらテレキャスターを充実させています。シンプルに見えてはは解ありそうな強い個性。自分流にアレンジして、ものにしているのが、

CURRENT

1970/1972/1975



Billy Squier



TN'70-75
¥75,000
color = mahogany



TN'72-75
¥75,000
color = NAT



TC'72-60
¥60,000
color = BLK



TD'75-65
¥65,000
color = NAT



CTL 30
¥39,800
color = BLK